

2015年
7月号

発行：生活クラブ生活協同組合
発行責任：理事会
編集：広報委員会
茨城県牛久市猪子町 992-676
TEL 029-874-8510 FAX 029-874-3651
http://ibaraki.seikatsuclub.coop/

特集：活動方針を決める総会

わたげ

生活クラブ茨城

消費材シリーズ

せっけん類

生活クラブでは合成洗剤の取組みがないことは知っていますね。「合成洗剤の使用を止めて、せっけんを使う」ということは「人体への影響だけでなく、河川や海などの自然環境を守る」運動です。水はめぐり巡ってまた自分のところに還ってきます。人にも環境にも優しい「せっけん生活」を始めてみてはいかがでしょうか？

● 合成洗剤で人体実験？

合成洗剤が動植物への毒性、環境破壊の一因ともなっていることは、何度か耳にし目にしたことがあることでしょう。しかし、毎日繰り返されるテレビコマーシャルによってか、私たちの考え判断する力は損なわれ、合成洗剤は生活の隅々まで入り込んでいます。またボディシャンプーなるものが登場してからは、人体丸ごと合成洗剤で洗うという日常が繰り返されるようになりました。ここでは何が石けんで何が合成洗剤なのかという分別が働くことはありません。合成洗剤の危険性が証明されるまで、この人体実験に私たちはさらされ続けることになるでしょう。

● 合成洗剤が普及した理由

私たちが何かを洗う場合、基本的に必要なものは「水」です。汗などは汚れが水の中に溶出するため水だけで十分落ちます。しかし、泥などはそれだけではだめで、「揉む」という物理的な力が必要で、さらに油汚れなどに対しては、洗剤が効果を発揮します。つまり、水+物理力+洗剤が洗う基本です。このうち洗剤は水に溶けない油などを水に馴染ませる働きをします。この働きを持つ物質が界面活性剤と呼ばれ、目的別に洗浄剤や乳化剤などがあります。洗浄剤はせっけんと合成界面活性剤に分けられます。

合成洗剤は第一次世界大戦で天然油脂が不足したため石炭から作り出されたのが始まり、第二次大戦で石油から作られるようになりました。その後の高度成長期は今も続く石油の時代。合成洗剤は石油製造過程

で生み出される大量の副産物「ナフサ」が主原料です。必然的に石油副産物にわずかな加工費を加えるだけでできる合成洗剤。どんどん売らない手はないでしょう。年に何百億円も宣伝広告費をかけてでもメーカーの収益は上がります。工業化の進展によって石油の消費量が増え、これに伴って副産物も増え、今や市場には合成洗剤が氾濫しています。メーカーの原理に私たちが追従してきた結果です。

● せっけんを使おう

せっけんは「臭い」「黄ばむ」「溶けにくい」など使わない理由は様々です。しかしこのようなデメリット（中には迷信もある）があるにせよ、もうそろそろ石油からもたらされた「簡単・便利」な生活スタイルを見直し、人間としての生き方を模索し始めてもいいのではないのでしょうか。

❖ひと手間かけてせっけん洗濯❖

組合員の声でより使い易くなったせっけん類ですが、ビギナーにとってはなかなか使いにくい様です。初めてでも簡単にきれいに仕上げるには、まず我が家の洗濯機をよく知り、コツを知っているいろいろ試してみてください。

- ① 洗濯ものは【ちょっと少なめ】に！
- ② しっかり【パラパラ】で【アワアワ】
一番いいのは洗面器にぬるま湯・粒状せっけんを入れ、泡立て器で良く溶かして洗濯機へ。これ完璧！
- ③ 【リンス】の力できれいに仕上がり！
最後にもう一度酢(クエン酸)を入れ溜め濯ぎがお勧め！洗濯物はできたらすぐに干す！これ必須です。

組織概要 (2015年5月末)	班組合員数 2,243人	5月世帯利用額 19,570円	【牛久センター】	【水戸センター】
組合員数 4,813人	個配組合員 2,570人	5月総利用高 94,020千円	牛久市猪子町 992-676	水戸市元石川町 302-12
	班数 367班	4月世帯出資額 118,511円	TEL 029-872-7521	TEL 029-291-8280
			FAX 029-872-7523	FAX 029-291-8281